

# 夜間学校 二ユス

1989年5月26日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を！

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば 何とかの 知恵

またも またもや

仕事がない

大阪府労働部は何のために

アンケートをとったのか

まったくハッキリしない  
天気が続いている。しかも、  
連休が終わればもう少し動  
くかと思われた仕事の動き  
も思わしくなく、センター  
での求人が減ったままの状  
態が続いている。

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

仕事の動きがニブイこと  
の理由のつは、リクルート  
で、やめるべき人間がいつ  
までも責任をとらないでグ

ズグズしたため、予算の成  
立が大幅に遅れ、公共事業  
がまた動いていないからだ。  
しかも、今年、公共事業  
の発注は、エックリめとな  
るもよう、仕事の回復は  
あまり早くないことが予想  
される。

四月中旬以降の仕事の落  
ち込みは、これは毎年のこ  
とで、仕方のないことだと

思い込ませざるをえないほど、  
例年の毎く繰り返されてき  
た。

しかし、これはさしつか  
ないことではなく、努力す  
れば、されることである。

行政が、発注時期を調整  
すればするにこた。

また、大阪府労働部が、  
仕事をづくり、出す決意を  
持ち、予算請求すれば、  
分かは、かんめされる。

仕事をない今、こんなこ  
とを言ってもおとの祭りだ  
が、海外からの出稼ぎが原  
因という誤解があるような  
ので、改めて伝えることにした。

## 仲間の死

本籍、住所不詳、氏名自  
称佐藤幸男、年齢47歳の男  
身長168センチ、丸刈、中肉  
着衣(上衣)白色メリヤス  
シャツ長袖、薄茶色シャツ、  
長袖、(下衣)薄茶色パツ  
チ、タテジマのガラパン、  
遺留金品現金4700円、札入れ  
右の者は、昭和61年12月  
10日午前7時50分ごろ、西  
成区萩之茶屋2-8-11簡  
宿陽苑一階下の10番にて発  
見されたもので、同月8日  
午後九時(推定)同所にお  
いて心不全のため死亡した  
ものと思われる。



市民バンクがスタートして一カ月余。すでに百件近い相談が、全国各地から持ち込まれている。

高齢化が進む中で、手助けを必要としているお年寄りがたくさんいる。そして一方で手を差し伸べたいという気持ちを持った人々もたくさんいる。しかし、お金を持ち出すいっぽうのボランティア活動を、長く続けるのは難しい。まして、金を払って業者に世話をしてもらおうとすれば、一般の家庭では払いきれないほどの介護料を請求される。善意だけでなく、金儲けを第一にするのではない事業分野があるにちがいない。私はこれを、市民事業と名付けた。そして、そうした市民事業に金を融資すると共に、事業の相談にのろうというのが、この市民バンクである。

右の新聞記事をよくよんでもらいたい。私には、今すぐにはないにしても、我々に関係のある、いや、我々の生活と関係

クである。市民事業を既に軌道に乗せている女性が、当初銀行に融資の依頼に行ったところ、相手にしてもらえなかったと憤慨していた。既存の金融機関は、地上げ屋に融資はしても、市民事業に對しては、話に耳を傾けようともしない。生産性をベースメーカーとして進む社

# 弱者の自立事業に融資

## 「市民バンク」の目指すもの

### 将来は「地球ネットワーク」が夢

すにしている。こうした矛盾を、市民サイドから力強く解決していくという動きが、すでに西ドイツで大きなうねりとなっている。市民バンクの草分けとも言える「エコバンク」が西ドイツ・フランクフルトに誕生したのは、ちょうど一年前の五月。一万五千人を超える人々が出

を上乗せしてある。この三分と無利息預金の利息が人件費や事務所の運営経費となる。この春訪ねた「エコバンク」は、喫茶店のようなたたずまいであった。スタッフは当初の六人から十一人に増えたが、まだまだ人手が足りず、忙しそうだ。将来はさらに貸出金利を下げ

助ける事業、自治を高める事業、環境を保全する事業、精神的障害を持つている人の自立を助ける事業、教育関連事業、省エネ型の家・交通手段。いずれも、一九六八年のヨーロッパにおけるオルターナティブ運動にさかのぼる、いわば物質に乏しいが、いざいざ物質万能の社会ではなく、精神や倫理に中心を置いた社会

ーズ・コレクティブの形式をとることが多いのだが、これを更に拡げようとするならば、資本のみならず、専門知識を持った人材の確保が不可欠となる。「エコバンク」のスタッフも、「事業を起そう」という人達の相談に乗る専門家をいかにして育てていくかが、今後最大のテーマだ」と話して

フを得、事業はなんとか波に乗ってきた。そして先月、永代信用組合の山屋幸雄組合長の理解と協力を得て、市民バンクの構想を現実させることができた。今、このような市民事業を、さらに外に向かって拡げていく段階に足を踏み入れたのだと思う。市民バンクの規模は、十億円、貸出レートは

タイプで運営される高齢者・障害者・女性の自立のための事業などだ。また、社会性をチェックするために成蹊大学教授の篠原一、歌手の山本コウタロー、国民経済研究協会の竹中一雄、日本ユネスコ協会連盟理事長の栗野鳳の各氏に評議員をお願いした。さらに、既に市民事業で健闘している方々にアドバイザーを委嘱し、新しく事業を始めようという人々の相談にのる。今後、市民事業同士の事業提携も進めたいと考えている。この試みを拡げるために、意味のある事業にお金を使って欲しいという方々からの預金も大歓迎だ。その利息は事務局の運営費や貸出利息を下げるために使われる。

会において、そのペースについていくことのできない「弱者」は、社会から振り落とされるしかない。金融機関に預けられた金は、土地の投機や軍事産業などに使われる。だが、自分の預けた金が結果的に自分の首をしめていくという矛盾を、どうすることもでき

たいというが、現在でも人件費は他の銀行と比べてかなり低い。とにかく若い人が中心になって、忙しく元気に働いている姿に、新生市民バンクの勢いを感じた。「エコバンク」の融資する分野は、次の七つに限定されている。女性の自立を

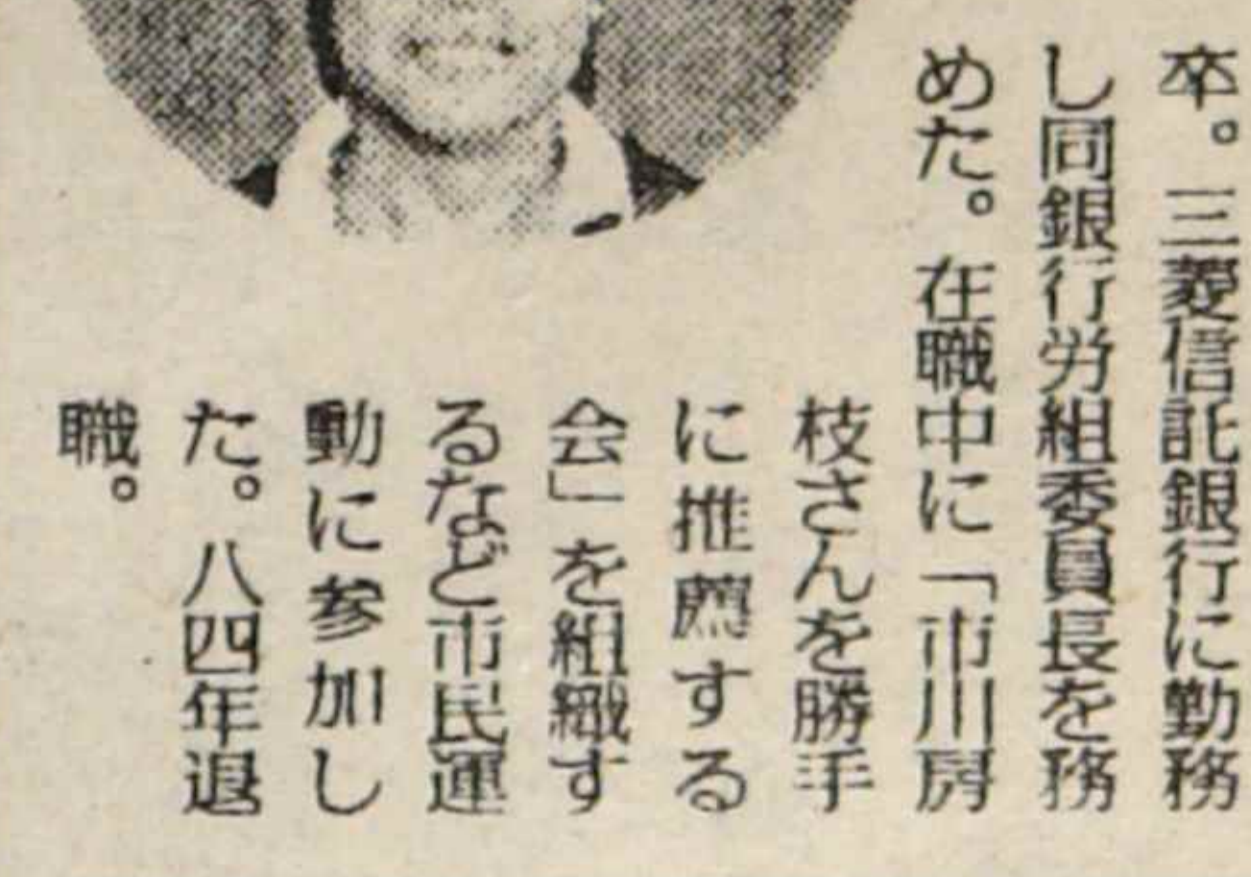
を求める運動だ。その根底に流れているのは、お金に支配されず、資本にかかわらず権利は同じ、という考えである。自立を目指す市民事業を起すには、まず働き方から変えていかなければならない。一人ひとりが経営者であり労働者であるワーカ

いた。そうした専門家が、つぎつぎと育っていくようになったとき、世界に市民事業のネットワークが創られるにちがいない。「第三世界ショップ」などの市民事業を展開してきた私達の活動も、三年を経た。多くの方の共感に支えられ、十三人の若いスタッ

長期プライムレートに運動（現在は五・七％）する。貸し出す対象は、地域社会が必要とする生活領域におけるサービス事業、環境の保全・健康に関する事業、南北経済格差の解消の推進などの国際交流事業、一人ひとりが主人公になれる働き方（ワーカーズ・コレク

「エコバンク」に続き、世界の「第三世界ショップ」による銀行作りがアムステルダムで検討されている。将来、世界中の仲間と、「市民事業の地球ネットワーク」を創りたい。それが、貧困のない平和な世界を誕生させる。私は、それを夢みている。

**片岡 勝**  
かたおか・まさる プ  
レス・オー  
ルターナテ  
イブ代表  
一九四六  
年、東京生  
まれ。慶応  
大法学部



卒。三菱信託銀行に勤務し同銀行労働委員長を務めた。在職中に「市川房枝さん」を勝手に推薦する会」を組織するなど市民運動に参加した。八四年退職。

づけて考えなければならぬことが書かれていっているように思える。ワーカーズ・コレクティブとは、共同事業組合会社と

もいうもので、労働者が金を出して合って会社を作り、労働者自身の手で運営され、資本を増やすことを決めるというもの

一九八九年五月二四日毎日新聞(夕刊)

仕事がないければ、仕事を創ることには力を入れている。仕事をつくることには力を入れている。

仕事をつくることには力を入れている。

仕事をつくることには力を入れている。